

2021年3月期 第1四半期決算説明資料



【 目 次 】

1. 損益の状況	(1) 第四北越フィナンシャルグループ連結	1
	(2) 2行合算	2
2. 金融再生法開示債権	2行合算	3
3. 有価証券の状況	(1) 第四北越フィナンシャルグループ連結	3
	(2) 2行合算	3
4. 預金等、貸出金残高	2行合算	4
5. 投資信託・公共債等預かり資産残高	2行合算	4

- (注) 1. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。
2. 2行合算は第四銀行、北越銀行の単体計数を単純合算した計数です。
3. 前年同期比、2019年6月末比欄の計数は、表上の数値による計算結果を表示しております。
4. 自己資本比率につきましては現在算出中につき確定次第、開示致します。

1. 損益の状況

（1）第四北越フィナンシャルグループ連結

○連結粗利益…資金利益が8億円、役務取引等利益が1億円、その他業務利益が20億円それぞれ減益となったことから、前年同期比30億円減益の202億円となりました。

○経常利益…株式等関係損益が30億円増加したものの、連結粗利益の減益に加え、営業経費が1億円、貸倒償却引当費用が4億円それぞれ増加したこと等により、前年同期比6億円減益の41億円となりました。

○親会社株主に帰属する四半期純利益…以上の結果、前年同期比6億円減益の25億円となりました。

		2021年3月期		2020年3月期	(参考)
		第1四半期	前年同期比	第1四半期	2020年3月期
連結粗利益	1	20,225	△3,036	23,261	88,433
資金利益	2	15,636	△841	16,477	61,999
役務取引等利益	3	4,298	△129	4,427	19,640
その他業務利益	4	290	△2,066	2,356	6,793
営業経費	5	17,815	190	17,625	69,863
貸倒償却引当費用	6	2,467	412	2,055	7,240
貸出金償却	7	405	△226	631	2,009
個別貸倒引当金繰入額	8	1,844	729	1,115	4,313
一般貸倒引当金繰入額	9	89	△131	220	542
延滞債権等売却損	10	—	—	—	—
その他	11	128	42	86	375
貸倒引当金戻入益	12	—	—	—	—
償却債権取立益	13	318	213	105	452
株式等関係損益	14	3,422	3,003	419	6,676
その他	15	477	△197	674	952
経常利益 【65億円】	16	4,159	△621	4,780	19,410
特別損益	17	△7	△5	△2	132
税金等調整前四半期(当期)純利益	18	4,151	△626	4,777	19,542
法人税、住民税及び事業税	19	1,298	△25	1,323	6,988
法人税等調整額	20	176	26	150	△992
四半期(当期)純利益	21	2,676	△627	3,303	13,546
非支配株主に帰属する四半期(当期)純利益	22	157	△25	182	670
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 【42億円】	23	2,519	△601	3,120	12,875

(注) 1. 連結粗利益＝（資金運用収益－（資金調達費用－金銭の信託運用見合費用））
 ＋（役務取引等収益－役務取引等費用）＋（その他業務収益－その他業務費用）

2. 【 】は2020年度第2四半期予想値

(参考)

					(単位:百万円)
連結業務純益	24	2,636	△2,990	5,626	19,100

(注) 連結業務純益＝第四銀行業務純益＋北越銀行業務純益＋その他の会社の業務純益
 ＋関連会社業務純益×持分－内部取引

(2) 2行合算 (第四銀行+北越銀行)

○業務粗利益・・・マイナス金利政策の長期化による有価証券利息の減少を主因に資金利益が19億円減益となったほか、役務取引等利益が1億円、その他業務利益が19億円それぞれ減益となったことから、前年同期比41億円減益の186億円となりました。

○実質業務純益・・・業務粗利益の減益に加え、経費が1億円増加したことにより前年同期比42億円減益の22億円となりました。なお、国債等債券損益を控除したコア業務純益は前年同期比29億円減益の34億円となりました。

○経常利益・・・株式等関係損益が34億円増加したものの、実質業務純益の減益に加え、ネット信用コストが4億円増加したこと等により前年同期比14億円減益の45億円となりました。

○四半期純利益・・・以上の結果、前年同期比15億円減益の31億円となりました。

(単位:百万円)

		2021年3月期		2020年3月期	(参考) 2020年3月期
		第1四半期	前年同期比	第1四半期	
業務粗利益	1	18,667	△4,118	22,785	82,202
(コア業務粗利益)	2	(19,864)	(△2,792)	(22,656)	(86,329)
資金利益	3	16,259	△1,999	18,258	65,858
うち投資信託解約損益	4	—	△246	246	—
役務取引等利益	5	2,851	△144	2,995	13,944
その他業務利益	6	△442	△1,973	1,531	2,399
うち国債等債券損益	7	△1,196	△1,324	128	△4,126
経費 (除く臨時処理分)	8	16,391	181	16,210	64,043
うち人件費	9	7,993	△134	8,127	32,061
うち物件費	10	7,240	151	7,089	27,893
実質業務純益	11	2,276	△4,299	6,575	18,159
(コア業務純益) 【93億円】	12	(3,473)	(△2,973)	(6,446)	(22,286)
(コア業務純益 (除く投資信託解約損益))	13	(3,473)	(△2,726)	(6,199)	(22,286)
一般貸倒引当金繰入額①	14	125	△86	211	546
業務純益	15	2,150	△4,213	6,363	17,613
臨時損益	16	2,375	2,719	△344	3,228
うち不良債権処理額②	17	2,213	722	1,491	5,684
(貸倒償却引当費用①+②)	18	(2,339)	(636)	(1,703)	(6,230)
うち貸倒引当金戻入益	19	—	—	—	—
うち偶発損失引当金戻入益	20	47	18	29	—
うち償却債権取立益	21	316	213	103	444
うち株式等関係損益	22	4,207	3,425	782	9,066
経常利益 【62億円】	23	4,526	△1,493	6,019	20,842
特別損益	24	△8	△6	△2	△85
うち固定資産処分損益	25	△8	△6	△2	△67
うち減損損失	26	—	—	—	18
税引前四半期(当期)純利益	27	4,517	△1,500	6,017	20,756
法人税、住民税及び事業税	28	1,033	△16	1,049	5,419
法人税等調整額	29	382	108	274	△13
四半期(当期)純利益 【45億円】	30	3,101	△1,591	4,692	15,350
(参考)					
ネット信用コスト 14+17-19-20-21	31	1,975	406	1,569	5,786

- (注) 1. コア業務粗利益＝業務粗利益－国債等債券損益
2. 実質業務純益＝業務粗利益－経費 (除く臨時処理分)
3. コア業務純益＝コア業務粗利益－経費 (除く臨時処理分)
4. 【 】は2020年度第2四半期予想値

2. 金融再生法開示債権

2行合算（第四銀行＋北越銀行）

○不良債権額は前年同期比148億円増加し875億円となり、不良債権比率も0.29%上昇の1.70%となりました。
 ○破産更生等債権は横ばい、危険債権は179億円増加、要管理債権は31億円減少いたしました。

	2020年6月末		2019年6月末	2020年3月末
		2019年6月末比		
破産更生等債権	74	0	74	81
破綻先債権	22	1	21	23
実質破綻先債権	52	0	52	58
危険債権	749	179	570	625
要管理債権	51	△ 31	82	42
小計 (A)	875	148	727	750
正常債権	50,547	△ 194	50,741	51,973
債権額合計 (B)	51,423	△ 46	51,469	52,723
不良債権比率 (A) ÷ (B)	1.70%	0.29%	1.41%	1.42%

(単位:億円)

(参考) (単位:億円)

3. 有価証券の状況

○第四北越フィナンシャルグループ
 有価証券の評価差額は、満期保有目的で5億円、その他有価証券で465億円の含み益となりました。
 ○2行合算
 有価証券の評価差額は、満期保有目的で5億円、その他有価証券で508億円の含み益となりました。

(1) 第四北越フィナンシャルグループ連結

	2020年6月末				2019年6月末				2020年3月末			
	貸借対照表 計上額	評価差額			貸借対照表 計上額	評価差額			貸借対照表 計上額	評価差額		
			うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損
満期保有目的	559	5	5	0	659	14	14	0	599	7	7	0
その他有価証券	24,372	465	849	384	24,486	609	1,055	446	22,573	322	799	477
株式	1,127	310	397	87	1,332	366	455	89	1,146	222	345	123
債券	14,586	78	124	46	14,382	259	263	3	14,031	123	148	24
その他	8,658	75	327	251	8,771	△16	336	353	7,395	△23	305	329
うち外国債券	4,834	277	279	1	4,421	211	216	4	3,870	256	260	4

(単位:億円)

(参考)

(単位:億円)

(2) 2行合算（第四銀行＋北越銀行）

	2020年6月末				2019年6月末				2020年3月末			
	貸借対照表 計上額	評価差額			貸借対照表 計上額	評価差額			貸借対照表 計上額	評価差額		
			うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損
満期保有目的	559	5	5	0	659	14	14	0	599	7	7	0
その他有価証券	24,254	508	887	379	24,385	707	1,143	435	22,472	393	851	458
株式	1,009	339	401	62	1,231	435	493	58	1,045	276	360	84
債券	14,586	106	151	45	14,382	299	302	3	14,031	154	178	24
その他	8,658	62	334	271	8,771	△27	346	373	7,395	△37	312	349
うち外国債券	4,834	279	281	1	4,421	213	218	5	3,870	258	262	4

(単位:億円)

(参考)

(単位:億円)

4. 預金等、貸出金残高

2行合算（第四銀行＋北越銀行）

○貸出金残高は、県内では新型コロナウイルスに伴う資金繰り支援などによって中小企業向けを中心に増加したものの、県外では大企業向けが減少したことから、全体では前年同期比58億円減少し、4兆9,790億円となりました。

○譲渡性預金を含めた預金等残高は、前年同期比4,408億円増加し、8兆136億円となりました。

（単位：億円） （参考）（単位：億円）

	2020年6月末	2019年6月末比	2019年6月末	2020年3月末
貸出金残高	49,790	△ 58	49,848	51,094
うち県内貸出金	37,831	573	37,258	38,621
うち中小企業等貸出	32,620	973	31,647	32,507
うち消費性貸出残高	13,220	401	12,819	13,157
預金等残高	80,136	4,408	75,728	76,580
うち県内預金等残高	78,378	4,466	73,912	74,904
うち個人預金等残高	52,544	2,572	49,972	50,352

（注）預金等残高＝預金＋譲渡性預金

5. 投資信託・公共債等預かり資産残高

2行合算（第四銀行＋北越銀行）

○預かり資産残高は前年同期比383億円減少し、8,313億円となりました。

保険が158億円増加したものの、投資信託が341億円、公共債が200億円それぞれ減少いたしました。

（単位：億円） （参考）（単位：億円）

	2020年6月末	2019年6月末比	2019年6月末	2020年3月末
預かり資産残高	8,313	△ 383	8,696	8,153
投資信託	1,688	△ 341	2,029	1,604
公共債	916	△ 200	1,116	933
保険	5,708	158	5,550	5,615

以 上